

報道関係者各位  
プレスリリース

オリザ油化株式会社

**ifia/HFE JAPAN 2022にてセミナー発表！**

**オリザセラミド®に含まれる米由来グルコシルセラミドおよびβ-シトステロールグルコシドの免疫および炎症性細胞に及ぼす作用を初公表（5/20） & 米由来セラミドのパイオニア！オリザ油化が自信をもって紹介する米由来の機能性原料とその健康効果を一挙にご紹介！（5/19）**

オリザ油化株式会社（本社：愛知県一宮市、代表取締役：村井弘道、以下「オリザ油化」）は、食べる米由来セラミドのパイオニアとして「オリザセラミド®」を1999年に上市しており、今日に至る20年以上の歴史の中で、機能性表示食品を含む国内外の数多くの最終製品に採用されている。

この度、同志社大学の米井教授が代表理事をされている第24回糖化ストレス研究会がifia/HFE JAPAN 2022と同時開催され、～免疫力強化と感染症対策を意識した機能性食品～のプログラムタイトルで5月20日（金）10：25～15：50の間に6演題の講演が予定されている。その中でオリザ油化は13：40～14：20に「米由来グルコシルセラミドおよびβ-シトステロールグルコシドの免疫および炎症性細胞に及ぼす作用」について最新データを交えて発表する。この内容についての発表としては初となる。これまでの報告では「オリザセラミド®」やその他の植物由来セラミド素材の主要な保湿成分はグルコシルセラミド（GlcCer）であるが、オリザ油化で継続的に行われている最近の研究より、「オリザセラミド®」の第2の保湿成分”β-シトステロールグルコシド”（BSG）および第3の保湿成分であるヒト型セラミド6（AP）の”Elasticamide”を近畿大学薬学総合研究所の森川敏生教授との共同研究により明らかにしている。今回の発表ではGlcCerおよびBSGについて更なる機能性研究を実施した結果、従来から知られている保湿作用や美白作用だけでなく、免疫や炎症性細胞に及ぼす作用について*in vitro*試験、*in vivo*試験で得られた結果を初公表する。

また、5月19日（木）のD: HFEセッション会場では13：00～14：05に“穀物の機能性セミナー”が開催される。公益財団法人 医食同源生薬研究財団の代表理事として米井教授が基調講演として「アンチエイジングと糖化ストレスの観点から」を30分講演された後に、「米由来セラミドのパイオニア！オリザ油化が自信をもって紹介する米由来の機能性原料とその健康効果を一挙にご紹介！」のタイトルで日本人の主食穀物であるお米の持つ魅力についてお伝えする。こめ油製造時の副産物から製造するセラミドやトコトリエノール（スーパービタミンE）、米胚芽から製造するGABAやオリザポリアミン、白米から製造するオリザプロテインやオリザペプチド、古代米から抽出した黒米エキスや赤米エキスなど“お米

2022年5月10日

のパイオニア”でもあるオリザ油化の米由来製品について広くご紹介する予定だ。

なお、19日（木）の穀物の機能性セミナーは聴講無料、事前登録なし。20日（金）の糖化ストレス研究会は聴講無料、事前登録制。